

船舶事故調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

| | |
|-------------|---|
| 事故種類 | 衝突（かき筏） |
| 発生日時 | 平成29年5月6日 23時00分ごろ |
| 発生場所 | 広島県広島港第1区 宇品灯台から真方位229° 1.1海里付近 （概位 北緯34° 19.7′ 東経132° 26.8′） |
| 事故の概要 | プレジャーボートMi-Ke-Nekoは、南東進中、かき筏に衝突した。 |
| 事故調査の経過 | 平成29年5月18日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済 |
| 事実情報 | |
| 船種船名、総トン数 | プレジャーボート Mi-Ke-Neko、5トン未満（長さ5.70m） |
| 船舶番号、船舶所有者等 | 253-11290広島、個人所有 |
| 乗組員等に関する情報 | 船長、二級小型 |
| 負傷者 | なし |
| 損傷 | 本船 推進器翼に欠損、船底部に擦過傷 かき筏 竹材に折損 |
| 気象・海象 | 気象：天気 曇り、風向 北北東、風力 1、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期 |
| 事故の経過 | <p>本船は、船長が1人で乗り組み、知人2人を乗せ、船長が操舵スタンド後方に立って操舵に当たり、約11ノットの対地速力で釣り場に向け、広島県広島市似島^{にの}と市峠^{とうげ}島との間を通過する予定で南東進していた。</p> <p>本船は、船長が、左舷船首方に光が見えたので、峠島西方沖のかき筏に設置された標識灯の灯光と思い、右に転針して航行を続けていたところ、かき筏に衝突した。</p> <p>船長は、峠島西方沖及び似島北方沖のそれぞれのかき筏に標識灯が設置されていることを知っていたが、左舷船首方に見えた光が似島北方沖のかき筏に設置された標識灯の灯光であったことを本事故後に知った。</p> <p>船長は、ふだんGPSプロッターの表示を確認しながら航行していたが、本事故当時、通い慣れた釣り場なので、GPSプロッターに残っている航跡を見なくても安全に航行できると思い、GPSプロッターの表示を確認していなかった。</p> |
| 分析 | 本船は、船長が、GPSプロッターを使用した船位の確認を行っていなかったことから、かき筏に設置された標識灯の灯光を見間違えていることに気付かず、かき筏に向けて転針し、かき筏に衝突したものと考えられる。 |
| 原因 | 本事故は、夜間、船長が、GPSプロッターを使用した船位の確認 |

| | |
|----|--|
| | <p>を行っていなかったため、かき筏に設置された標識灯の灯光を見間違えていることに気付かず、かき筏に向けて転針し、かき筏に衝突したものと考えられる。</p> |
| 参考 | <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・慣れた海域を航行する際においても、GPSプロッターを活用するなどして船位の確認を行うこと。 |